親和会だより

令和元年秋号　№8　発行・令和元年12月25日

親和会の基本理念

私たちは、利用者の個人の尊厳を大切にし、障害者が地域の中で自分らしく生きるための支援を行うとともに、地域に開かれ信頼される法人運営をめざします。

社会福祉法人　親和会
理事長　山本　久喜

〒997-0024
鶴岡市朝暘町4-10
（法人本部）

TEL：0235-64-1769
FAX：0235-24-5335
Mail：info@sinwa-kai.or.jp
H P：http://sinwa-kai.jp

※　さごし利用者で書家の梅津玄雲氏に揮毫していただきました。

庄内障がい者地域支援親和会総会　報告

親和会では、10月４日（金）に「庄内障がい者地域支援親和会」総会を開催し、利用者・家族、理事・監事、評議員、第三者委員、職員あわせて200名余りが参加しました。親和会は当初「家族会」としてスタートしましたが、社会福祉法人に移行後、「家族会」を「庄内障がい者地域支援親和会」と改称しました。年一回総会を行っており、今年で21回目を迎えました。

午前中は理事長挨拶の後、利用者から親和会への質疑応答、第2回「俳句・川柳・短歌大会」の表彰式、事業所毎のステージ発表、「あずま」の生活訓練利用者制作の切り絵の「さごし」「あすか」へ贈呈等を行いました。

あずま生活訓練利用者
作成の切り絵

表彰式で記念品贈呈

午後は、利用者は「交流会」、ご家族は「懇親会」に参加しました。

「交流会」では「ワールドカフェ」を行いました。利用者・職員が12テーブルにわかれ、「やってみたい仕事」や「おすすめグルメ」「おすすめ観光スポット」等をざっくばらんに話し合うものです。多くの人が「事業所の作業を頑張りたい」と抱負を語りました。

「懇親会」では、「通所事業所に通って良かった」「グループホームに入り落ち着いている」といった声から、現在抱えている悩みや不安など、ご家族の切実な声が出されました。

利用者とご家族が一堂に会し、率直な悩みや不安、要望などを共有できたことで大変有意義な総会になりました。今後も、親和会では利用者・ご家族に寄り添った運営をめざしたいと思います。

当日は会場で、利用者が作ったパンやお菓子（工房おひさま）、バックや小物等を販売しました。大盛況！
工房おひさまの商品は完売しました。

ステージ発表！
この日にむけて練習を積んできました

ニューヨーク単独訪問、富士山登頂…親和会には、自らの「夢」を実現した利用者がいます。今号では、そんなお二人の体験談を寄稿していただきました。

富士山登山をおえて
さんのう　若公　勝美さん

令和元年に、かねてから念願だった富士山登山を体調、準備等を支えてくれた、特にさんのうの支援員やぱすてるの職員の方には大変お世話になった。登頂できたのもガイドの加賀丸さんや皆さんと「もうちょい」と励まし合いながら、ほぼ全員登頂できて嬉しかったし、それに天皇陛下も登頂したのだなあ～‼

空気がおいしかった。

あらためて関係に携わってくれた人達に心から感謝したいです。

ところで、今年の我が家の流行語大賞は『ワンファミリー』だと思っている。それを新しい年は…もっと繁栄していきたいです‼

皆様にとりましても、来たる年はよい年でありますように心よりお願いいたします。

ニューヨーク1人旅！「夢は必ずかなう‼」

セントパトリック大聖堂

さごしの智子さんは、８月に念願のニューヨーク１人旅を実現しました。セントパトリック大聖堂、ブロードウェイ通り、ロックフェラーセンター…ニューヨークはハラハラドキドキの連続でした‼

智子さんは言います、「夢は必ずかなう」と。

教会で出会ったMs. マーガレットと

ライオンキング　観たかった～

現役ダンサーと記念写真！

新入職員紹介

さごし　職業指導員
後藤　久美さん

12月で３カ月経ちますが、初めは新しい職場での緊張感、また利用者との関わり方に少し戸惑いを感じましたが、今はその不安もなくなり、毎日利用者さんと過ごす時間が楽しいです。

利用者さんの毎日の体調のことや悩みなど聞いて支えていけたらと思います。

さごし・あずま　送迎員
兵藤　哲さん

この会社で働く以前は酒田市内でタクシーの運転手をしておりました。これからは皆様が安全に出勤退勤、通院できるように細心の注意を払った運転を心掛けたいと思っております。

皆様に早く覚えていただけるように頑張りたいと思います。

イラスト：シューイチさん（さごし）

やまびこ　職業指導員
南葉　恵美子さん

10月からやまびこで働いています。私は体を動かすことが好きで、週2回ジムやプールで汗を流しています。自宅ではうさぎ2匹を飼い、日々癒されています。

1日も早く仕事を覚えるように頑張ります。

さんのう　職業指導員
佐藤　友紀さん

まだまだ何もわからない私に利用者様が説明してくれたり、大きな荷物を運ぶ私を心配そうに後ろからついてきてくれる利用者様がいたりと、なにかと利用者様から助けられています。

先輩スタッフのように、利用者様から頼られるスタッフになれるよう日々勉強していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

あずま　生活支援員
荘司　春人さん

覚えることも沢山あり、なかなか覚えることが出来ず、皆さんの足を引っ張ってばかりですが、あずま先輩職員の方よりご指導して頂きながら日々学び、利用者の方に適正な支援が出来るようになりたいと思っております。